

第4回 田野畑村新庁舎建設検討委員会

日時：令和6年1月22日（月）13：30～

場所：アズビィ楽習センター 会議室

次 第

1 開会

2 議事

- ・庁舎建設に係る視察について
- ・行政拠点の配置と連携について
- ・建設候補地について
- ・その他

<配布資料>

- 庁舎建設に係る視察 ----- 資料No.1
行政拠点の配置と連携について ----- 資料No.2
建設候補地（案）の特徴 ----- 資料No.3
田野畑村役場庁舎基本構想（素案）抜粋 ----- 資料No.4

庁舎建設に係る視察①

【視察日程】 令和 5 年 12 月 18 日

【視察先】 葛巻町役場

【視察目的】 庁舎の視察及び建設までの取り組み状況など

【参加者】 副村長、村職員 9 人、新庁舎建設検討委員会内田委員長

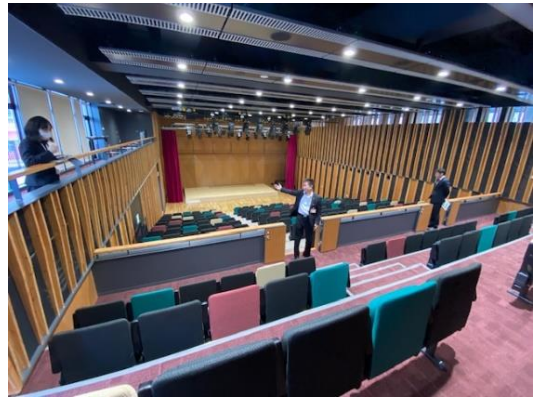
【内容】 事業及び施設概要の説明、庁舎内の見学、質疑

【施設概要】 コンパクトシティの視点を取り入れた複合施設
(行政、交流、商工、金融)

【参加者の感想など】

- ・村の新規施策プロジェクトチームや新庁舎建設検討委員会が出された意見のほぼ全ての設備が整備されていると感じた。
- ・フリーデスクでのノートパソコンによる業務スタイルが良い。フリーデスクであれば、常に机上がきれいに保とうとする意識が生まれ、人事異動の際にも楽に移動できる。
- ・複合施設という考え方が村に合っていると思う。診療所や商工会、森林組合などを集約化することで、来訪者の利便性につながり、活発な利用状況が期待できる。
- ・施設の随所に葛巻町ならではのこだわりなどが散りばめられ、役場が用事を済ませに行くだけの場所ではなく、町民の生活と交流の場として機能していた。
- ・コンセプトが外観、内装の随所にあり、シンプルだけど細部にまでこだわった作りになっていて、町の「推し」が分かりやすい。
- ・町産材を使ったテーブル、本棚、カウンターや会議用テーブルが木目で統一感があり、フラットな床、カスタマイズできる会議室は、場面に応じた使い方ができる。
- ・クリーンエネルギーとして地中熱や太陽光発電の活用だけではなく、庁舎の向きで日光による気温差を緩和し、空調に使用するエネルギーを削減するなど、環境に配慮しつつ、町民や職員が快適な空間になるように配慮されている。
- ・子育てサロンは、今後、女性職員が増加することを見据えて事業所内保育にも使えるように設計されていて、子育て世代が働きやすい環境になるのではないかと感じた。
- ・新規施策プロジェクトチームでの検討では、庁舎を行政サービスの提供の場としか考えておらず、必要最小限の設備での建設に注視しがちだった。しかし、葛巻町のように庁舎建設という何十年の一度の機会をチャンスと捉え、地域活性化のための複合庁舎を建設するという点を村も取り入れるべきだと思った。

【視察の様子】



庁舎建設に係る視察②	
【視察日程】 令和 6 年 1 月 12 日	【視察先】 宮古市役所
【視察目的】 行政拠点の集約化について	
【参加者】 村職員 5 人、新庁舎建設検討委員会内田委員長	
【内容】 事業及び施設概要の説明、庁舎内の見学、質疑	
【施設概要】 本庁舎、保健センター、市民交流センターの 3 つの複合施設	
【行政拠点の集約化の良い点】	
<ul style="list-style-type: none">・ 情報共有ができる。・ 他部署と連携して緊急対応に当たる場合にすぐに動くことができる。・ 会議などでの移動時間が短縮できた。・ 転入の手続きの際に建物間の移動が無くなり、手続きの漏れがなくなった。・ 他部署に用事の方を案内しやすくなった。	
【行政拠点の集約化の悪い点】	
<ul style="list-style-type: none">・ 特に感じていない。	

行政拠点の配置と連携について

1 現状

現在の行政組織は、本庁舎、保健センター（健康福祉課）及びアズビィ楽習センター（教育委員会事務局）の3カ所に分散している。分散の経緯は、総合保健施設やアズビィ施設の効率的な管理運営という要素もあるが、根本的には本庁舎が手狭であったことによる。

2 検討の方向性

近隣の自治体の例を見ると、新庁舎の建設に当たっては、ワンストップ化による行政サービスの向上、円滑な意思決定、長期的な視点での効率化等の要素を重視して行政機能を集約する事例が多い。

また、これまでの検討委員会の会議や庁内の若手職員による新規施策プロジェクトチームの議論においても、集約化によるメリットを期待する意見が多い状況にあり、本検討委員会においても、機能を集約することを基本とし検討を行う。

3 検討の留意点

現在の候補地はいずれも、アズビィ楽習センターからそれほど離れていないため、教育委員会事務局については、集約化によるデメリットはそれほど大きくないと考えられる。

一方、健康福祉課に関しては、診療所や高齢者福祉施設から離れることとなるため、集約化によるメリット及びデメリットを詳細に分析したうえで、内容、時期等を決定する必要がある。

なお、保健センター及びアズビィ楽習センターについては、いずれも建築から20年前後で耐用年数が残っており、集約化後の用途や、仮に不要とされた場合に生じる費用も併せて検討する必要がある。

行政拠点集約のメリットとデメリット (アズビィ楽習センター)

(1) 住民サービス

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・移動時間と交通費の短縮・削減につながる。・複数の施設を移動しなくてもよくなる。・利用者にとって分かりやすい。・村民以外の来客者も場所が分かりやすくなる。・くるもん号やバスが使いやすくなる。	<ul style="list-style-type: none">・多くの人の目に触れる可能性がある。・総合窓口とした場合に混雑する可能性がある。・窓口での手続きや各種相談会など、プライバシーの保護が必要。・多くの目があることから利用者の心理的ハードルが上がる可能性がある。・広めの駐車場スペースが必要。

(2) 行政効率

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・施設の維持管理費、修繕費が削減できる。・職員の移動に係る時間と燃料が節約できる。・各課所有の資器材、備品等がある程度集約して管理できるようになる。・部局間の連携、連絡調整がスムーズになり、業務の効率化が図られる。・他部局との対面での打合せがしやすくなる。・他部局と連携した事業の実施がしやすくなる。・担当課をまたいだ決裁などがスムーズになり、事務の時間短縮になる。・文書輸送等の時間削減につながる。・会議などのとき、移動で昼休みが削れなくて良い。・総合バスの増便ができる。	<ul style="list-style-type: none">・駐車場を広めに確保する必要がある。・庁舎内会議室が不足する可能性がある。・新庁舎がアズビィ周辺以外の場合には、アズビィ施設を住民が使用する場合の管理方法などを決める必要がある。・日直や宿直がどの範囲まで対応するのか考える必要がある。(図書館対応やアズビィ体育館や野球場の鍵の取扱いなど)

行政拠点集約のメリットとデメリット (保健センター)

(1) 住民サービス

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・各手続きなどを1カ所で行うことができる ・ワンストップサービスが実現できる。 ・家族で別々の課に用があったとしても一緒に来やすい。 ・来庁者がどの課に行けばいいかわかっていない場合でも対応可能になる。 ・「妊娠・出産・子育て」と「高齢者の介護」について、相談や手続きが1カ所で行えるようになる。 ・住民サービスの集約化ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談すること自体をあまり知られたくない人もいるので、配慮が必要となる。 ・健康、障害、子育て、生活困窮などの相談は、来庁・電話どちらでもプライバシーの確保が難しくなる可能性がある。 ・デイサービスのパワーリハビリ利用者は、移動が困難になる可能性がある。 ・庁舎と駐車場など全体的に広くしなければならない。 ・診療所受診→介護相談の流れが多く、相談者が移動しなければならない。 ・乳幼児健診を庁舎に医師を呼んで実施することになると、現在は、診療の合間に行っているが時間が取れなくなる可能性がある。村民に診療所に行ってもらうことになると、医科、歯科のどちらにも行く事になり負担が増す。

(2) 行政効率

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・課をまたぐ事業などの連携がしやすくなる。 ・職員同士が顔を覚えやすくなる。 ・他部署との情報共有がスムーズになる。 ・各課の動きが分かりやすくなる。 ・課の統合、職員数や担当業務の見直しなど、業務の適正化が図れる。 ・執務環境の統一が図れる。 ・コピー機やシステムなどの削減ができる。 ・施設の管理費や修繕費が削減できる。 ・日直当番の回数が減ることで、職員の労働環境が若干改善され、新採用職員の応募者増が期待できる。 ・保健センター機能部分については、交付税算入のある過疎対策事業債を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に執務室を置き、保健センターで事業を行う場合、個人情報の持ち出しなどの問題がある。 ・集約することで感染症拡大のリスクが増加する。 ・医療福祉関係機関と連携しにくくなる。 ・運動事業で何かあれば診療所ですぐに対応できるが、集約化することで対応に時間がかかる。 ・災害で本庁舎が被災した際の代替施設が少なくなる。 ・現在と同様の事業ができるように、施設設備と面積が必要になる。 ・会議室や相談室の数がそれなりに必要になる。 ・広めの駐車場を確保する必要がある。 ・現在の保健センターの利用方法や管理を考える必要がある。

候補地（案）の特徴

旧岩泉高校田野畑校敷地



① 用地取得	村有地
② 敷地面積	約 6,850 m ²
③ 中心部からのアクセス	やや離れている 国道から高低差があり徒歩での利用は不便
④ 他施設との連携	中央防災センターに近接しており連携しやすい 旧若桐保育園の園庭・建物の活用の可能性がある 保健センターから約 1.8 ㎞
⑤ 災害時の対応	中央防災センターに近く連携しやすい 防災センターと近すぎることによる問題も起こり得る
⑥ 敷地の造成	土砂を除去すればほぼ平坦
⑦ その他	中心部と比較して風が強い 中心部と比較して午後に日当たりが悪い 2階からは海が見える

候補地 (案) の特徴

アズビィ楽習センター南側



① 用地取得	村有地
② 敷地面積	約 3,450 m ²
③ 中心部からのアクセス	中心部から近く徒歩でもアクセスできる 高低差はないがアクセス道路がやや狭い
④ 他施設との連携	アズビィ楽習センター、ホール、体育館と近接しており 連携しやすく、利用者の利便性も高い 既存施設の駐車場を活用できる 保健センターから約 1.7 ㎞
⑤ 災害時の対応	中央防災センターから約 400 ㍍ ホール、体育館が避難所となった場合に対応しやすい
⑥ 敷地の造成	平坦で既存樹木なし
⑦ その他	

候補地（案）の特徴

アズビィ楽習センター北側



① 用地取得	民有地のため取得費用が必要になる
② 敷地面積	約 10,595 m ²
③ 中心部からのアクセス	中心部から近く徒歩でもアクセスできる 高低差はないがアクセス道路がやや狭い
④ 他施設との連携	アズビィ楽習センター、ホール、体育館と近接しており連携しやすく、利用者の利便性も高い 既存施設の駐車場を活用できる 保健センターから約 1.7 ㎞
⑤ 災害時の対応	中央防災センターから約 400 ㍍ ホール、体育館が避難所となった場合に対応しやすい
⑥ 敷地の造成	ほぼ平坦だが中央部に排水用の窪地あり
⑦ その他	

田野畑村役場庁舎基本構想 (素案)

令和元年 12 月
岩手県田野畑村

1) 現庁舎の概要

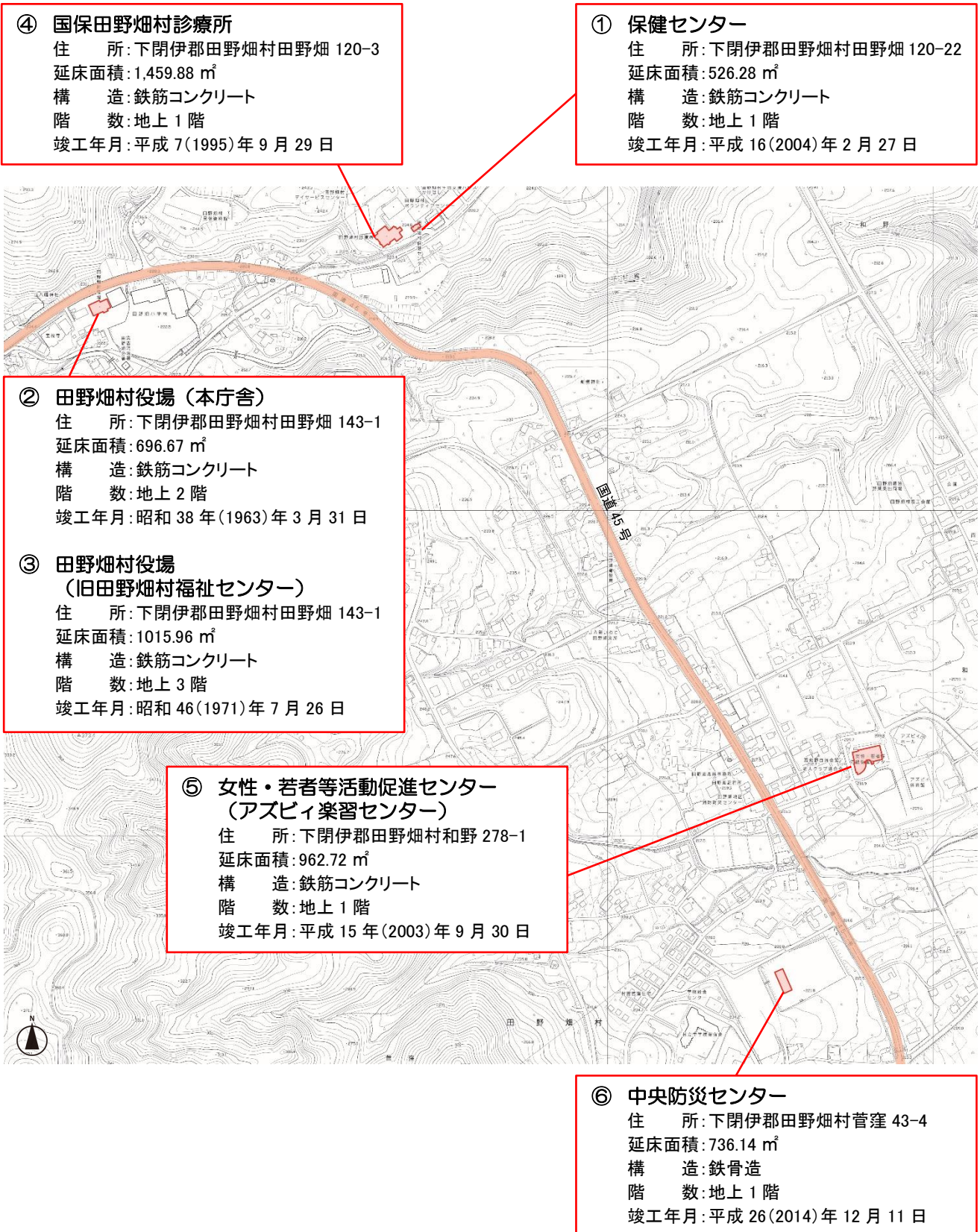
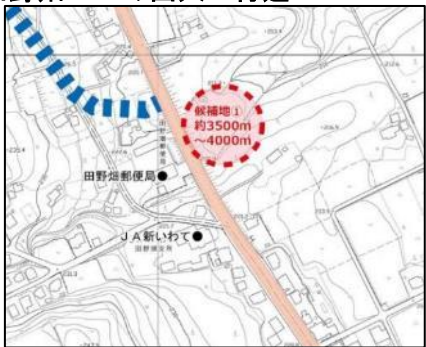



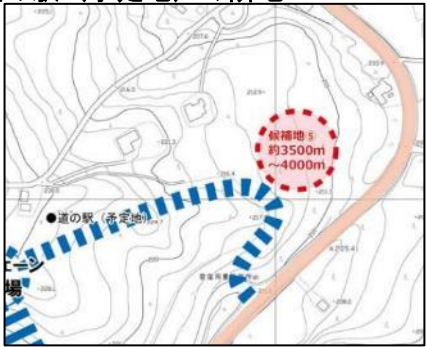


図 現庁舎・その他周辺施設 位置図

3案の検討理由とメリット及びデメリットを以下の表に示します。

項目	現小学校敷地	アズビィ体育館周辺	中央防災センター周辺
検討理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有地を主体とし、想定規模に納まる ・ 教育ゾーン（中学校付近）に幼・小中学校関連施設を集約することにより、教育環境の改善を優先する ・ 公共の既存資産の有効活用が出来るため 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有地を主体とし、想定規模に近い ・ 商店街の活性化を見据えた検討が可能であるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有地を主体とし、想定規模に近い ・ 防災拠点として、機能強化が可能であるため
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センター、診療所との連携がしやすい ・ 既存資産の活用が可能 ・ 敷地規模は、駐車場を含め、他地区と比較し、十分にある ・ 教育施設の集約により、教育環境が改善される 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホールなど他の周辺公共施設と近接し、利便性が高い ・ 商業施設が近いこと、相乗効果が期待できる ・ 平坦な土地であるため、歩いて利用しやすい ・ 避難所との連携が図れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央防災センターと隣接し、災害時の対応に優位である ・ 高い位置にあることから、シンボル性が確保しやすい
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの中心部から、アクセスがしづらい ・ 改修や将来的に建て替える財源の確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセス道路が狭い ・ 国道45号との交差点は事故の危険性がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地形高低差があるため、歩いて利用するには不便 ・ アクセス道路が狭い

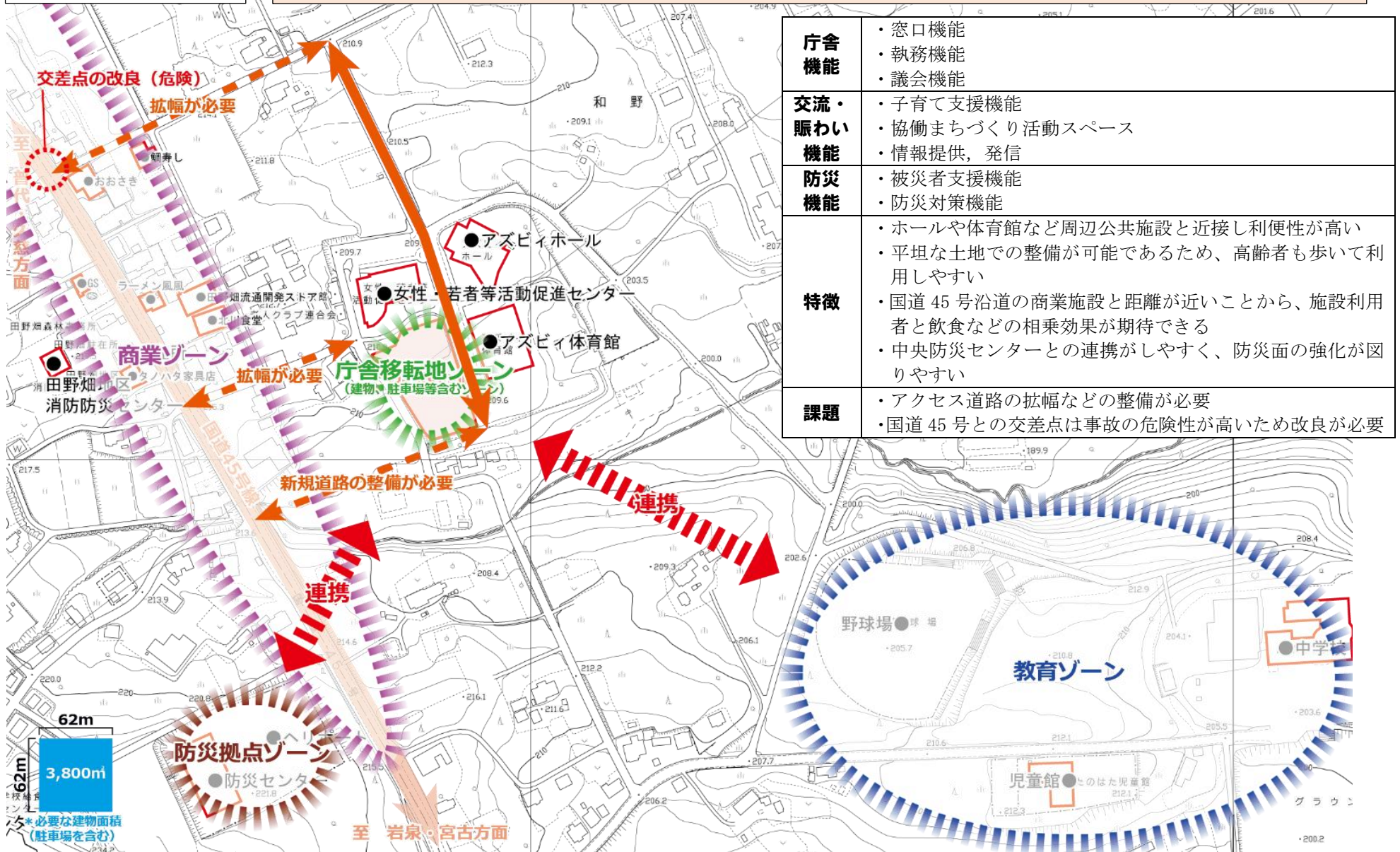
参考資料 1 候補地案の比較

主な特徴	候補地①	候補地②	候補地③	候補地④	候補地⑤
場所	<p>田野畑 IC の出入口付近</p> 	<p>現小学校敷地</p> 	<p>アズビィ体育館周辺</p> 	<p>中央防災センター周辺</p> 	<p>道の駅（予定地）の隣地</p> 
1. 敷地規模（拡張性）	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は 3,500~4,000 m²。 民有地 敷地の拡張性はあるが、周囲は民間の土地（森林）となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は約 12,000 m²。 公用地 12,000 m²（宅地） 敷地に余裕があり、駐車場等の拡張が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は約 3,500 m²。 公用地 3,500 m²（雑種地） 駐車場等の拡張にあたっては、周辺の公共施設との共用が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は約 5,000 m²。 公用地 5,000 m²（雑種地） 駐車場等の拡張にあたっては、公有地が活用可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積は 3,500~4,000 m²。 公用地 2500~2800 m²程度（山林） 敷地の拡張にあたっては、斜面の開発が必要になる。
2. アクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接道状況：国道 45 号 ⇒ 国道 45 号からのアクセスは、直接出入口が可能 ・ 三陸沿岸道路からのアクセスは、田野畑中央 IC ⇒ 村道 ⇒ 45 号交差点から可能（L=600m） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接道状況：村道 ⇒ 国道 45 号からのアクセスは、信号交差点 ⇒ 村道 T 字路 ⇒ 左折 ・ 三陸沿岸道路からのアクセスは、田野畑中央 IC ⇒ 村道経由（L=1700m） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接道状況：村道 3 方面直接 ⇒ 国道 45 号からのアクセスは、2 箇所、交差点改良が必要 ・ 三陸沿岸道路からのアクセスは、田野畑中央 IC ⇒ 村道 ⇒ 45 号右折 ⇒ 交差点信号左折 ⇒ 村道経由（L=1300m） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接道状況：村道 2 方面直接 ⇒ 国道 45 号からのアクセスは、信号機 1 交差より。高低差あり ・ 三陸沿岸道路からのアクセスは、田野畑中央 IC ⇒ 村道 ⇒ 45 号右折 ⇒ 交差点信号右折 ⇒ 村道経由（L=1500m） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接道状況：村道 1 方面直接 ⇒ 国道 45 号からのアクセスは、信号機なし交差点より。高低差あり ・ 三陸沿岸道路追加 IC から出入りが可能
3. 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型車のアクセスが可能である。 ・ 中央防災センター L=600m（消防署・ヘリポート） ・ 広域避難場所（アズビィホール・体育館）L=600m ・ 広域避難場所（中学校）L=1400m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型車の進入に制約がある。 ・ 中央防災センター L=1800m（消防署・ヘリポート） ・ 広域避難場所（アズビィホール・体育館）L=1700m ・ 広域避難場所（中学校）L=2600m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型車のアクセスが可能である。 ・ 中央防災センター L=400m（消防署・ヘリポート） ・ 広域避難場所（アズビィホール・体育館）L=30m ・ 広域避難場所（中学校）L=1200m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地に余裕があり、支援活動が展開可能である。 ・ 大型車の進入に制約がある。 ・ 中央防災センター L=90m（消防署・ヘリポート） ・ 広域避難場所（アズビィホール・体育館）L=700m ・ 広域避難場所（中学校）L=1000m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三陸自動車道からの広域アクセスに優れる。 ・ 大型車のアクセスが可能である。 ・ 中央防災センター L=1200m（消防署・ヘリポート） ・ 広域避難場所（アズビィホール・体育館）L=1600m ・ 広域避難場所（中学校）L=1400m
4. 道路からの視認性（シンボル性）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田野畑 IC 出口や国道 45 号から視認しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 45 号を背にして段差が生じるため、国道から視認しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 45 号から視認しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高台に立地するため、国道 45 号から視認しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カーブ途中であるため、国道 45 号から視認しにくい。
5. 経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民地であるため、用地費が必要である。 ・ 斜面地であるため造成工事が必要になる。（擁壁または法面の発生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有地である。 ・ 初期の建設費用は経済的である ・ 50 年のライフサイクルコストが高くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平坦な公有地である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平坦な公有地である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公有地である。 ・ 斜面地であるため造成工事が必要になる。（擁壁または法面の発生）
6. 利用者の利便性（①子育て・教育）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若桐保育園 L=1000m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 L=70m ・ 中学校 L=2600m ・ 若桐保育園 L=2200m ・ 児童館 L=2600m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若桐保育園 L=700m ・ 児童館 L=800m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 L=1000m ・ 若桐保育園 L=200m ・ 児童館 L=1000m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の候補地と比較すると距離がある
（②学習）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽習センター（図書館）L=700m ・ アズビィ体育館 L=600m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民俗資料館 L=800m ・ 楽習センター（図書館）L=1700m ・ アズビィホール体育館 L=1700m ・ 村営野球場 L=2300m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽習センター（図書館）L=30m ・ アズビィ体育館 L=30m ・ 村営野球場 L=500m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽習センター（図書館）L=500m ・ アズビィ体育館 L=700m ・ 村営野球場 L=750m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の候補地と比較すると距離がある
（③主要産業施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会 L=850m ・ JAL L=50m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会 L=1800m ・ 漁協 L=5000m ・ JA L=1000m ・ 森林組合 L=1400m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会 L=850m(5) ・ JA L=550m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA L=750m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の候補地と比較すると距離がある
（④金融サービス）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便局 L=80m ・ JA L=50m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便局 L=1000m ・ JA L=1000m ・ 漁協 L=5000m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便局 L=600m ・ JA L=550m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便局 L=750m ・ JA L=750m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の候補地と比較すると距離がある
（⑤食事、買い物、その他）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿司屋 L=230m ・ ラーメン屋 L=260m ・ 食堂① L=280m ・ 食堂② L=350m ・ 精肉店 L=30m ・ 雑貨店 L=160m ・ ドラッグストア L=650m ・ 交番 L=280m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅（新） L=2800m ・ 寿司屋 L=1400m ・ ラーメン屋 L=1500m ・ 食堂① L=1500m ・ 食堂② L=1600m ・ 精肉店 L=1200m ・ 雑貨店 L=1500m ・ ドラッグストア L=1800m ・ 交番 L=1500m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿司屋 L=270m ・ ラーメン屋 L=220m ・ 食堂① L=200m ・ 食堂② L=140m ・ 精肉店 L=450m ・ 雑貨店 L=300m ・ ドラッグストア L=450m ・ 交番 L=200m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寿司屋 L=650m ・ ラーメン屋 L=450m ・ 食堂① L=400m ・ 食堂② L=400m ・ 精肉店 L=700m ・ 雑貨店 L=550m ・ ドラッグストア L=280m ・ 交番 L=450m 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅（新） L=100m

アズビィ体育館周辺

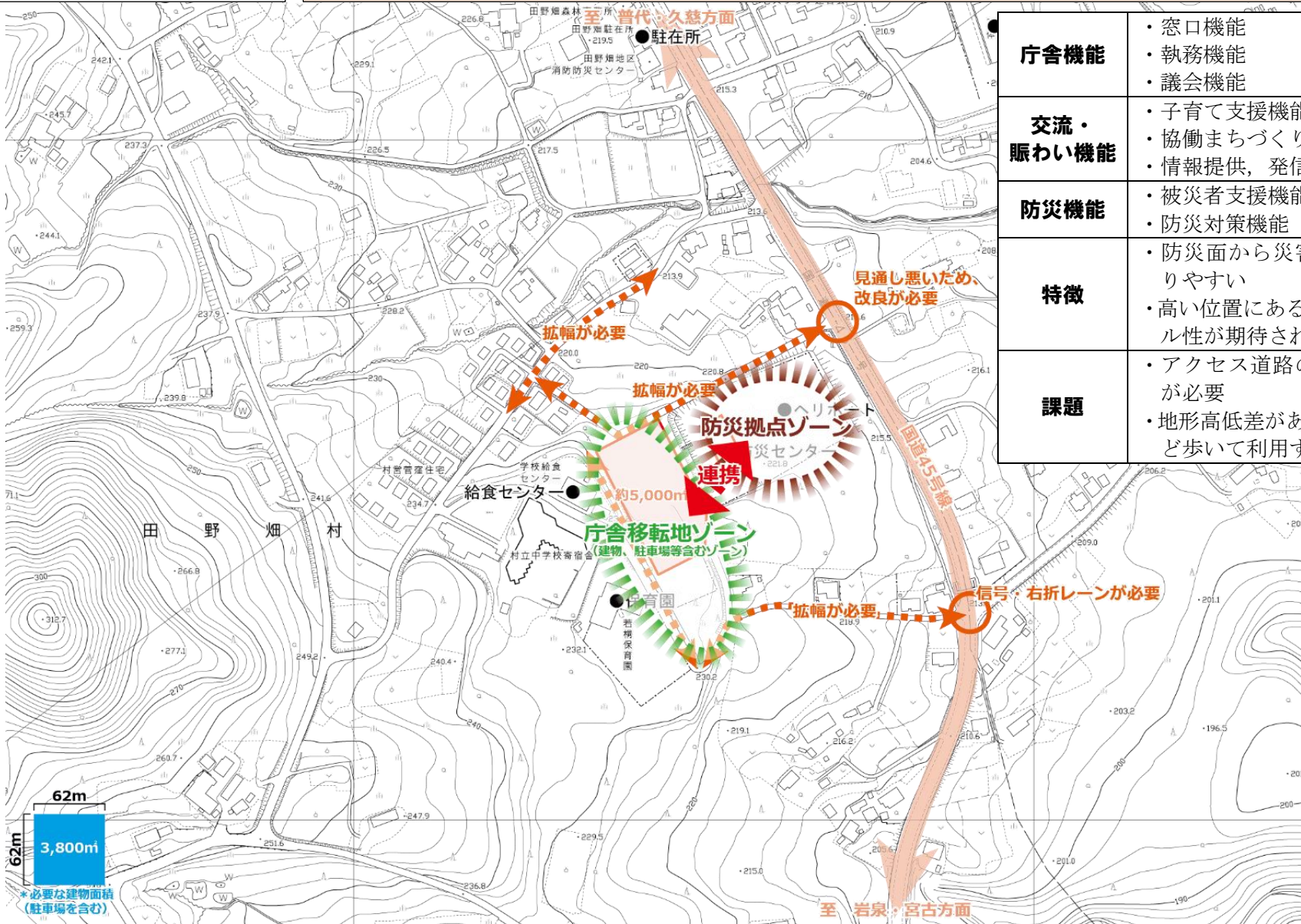
～整備コンセプト～

商店の賑わいを創出し、生活関連施設が利用しやすい役場庁舎



中央防災センター周辺

～整備コンセプト～



庁舎機能	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口機能 ・執務機能 ・議会機能
交流・賑わい機能	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援機能 ・協働まちづくり活動スペース ・情報提供, 発信
防災機能	<ul style="list-style-type: none"> ・被災者支援機能 ・防災対策機能
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・防災面から災害対策の連携が図りやすい ・高い位置にあることから、シンボル性が期待される
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス道路の拡幅などの整備が必要 ・地形高低差があるため、高齢者など歩いて利用するには不便